

令和6年度教員活動状況評価結果について

令和7年9月18日

○本学教員活動状況評価に関する規程 及び 同実施細則に基づき、教員活動状況評価を実施しました。
当該評価の集計結果は、以下のとおりです。

◇評価結果

【総合評価】

全学		
S	15	(8.2%)
A	51	(27.7%)
B	111	(60.3%)
C	6	(3.3%)
D	1	(0.5%)
計	184	

【領域評価】

<教育>

全学		
A	53	(29.6%)
B	122	(68.2%)
C	4	(2.2%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	179	

<社会活動>

全学		
A	50	(28.2%)
B	106	(59.9%)
C	16	(9.0%)
D	5	(2.8%)
評価対象外		
計	177	

<センター等業務(コーディネート)>

全学		
A	2	(66.7%)
B	1	(33.3%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	3	

<センター等業務(調査研究・研究開発等)>

全学		
A	1	(25.0%)
B	3	(75.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	4	

<研究>

全学		
A	54	(30.2%)
B	94	(52.5%)
C	23	(12.8%)
D	8	(4.5%)
評価対象外		
計	179	

<管理・運営>

全学		
A	41	(24.6%)
B	108	(64.7%)
C	18	(10.8%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	167	

<センター等業務(学生指導・学生支援等)>

全学		
A	3	(37.5%)
B	5	(62.5%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	8	

<センター等業務(企画立案・管理運営等)>

全学		
A	8	(53.3%)
B	7	(46.7%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	15	

(単位:人)

※端数処理の都合上、各評価の割合の合計が100%にならない場合がある。

(評語等の説明)

- S: 活動状況が極めて良好である
- A: 活動状況が大変良好である
- B: 活動状況が良好である
- C: 活動状況がやや不十分である
- D: 活動状況が不十分である

※領域評価において採用期間や教育免除等の特段の理由がある場合、「評価対象外」としている。

◇評価対象者

専任の教授、准教授、講師、助教
※学部長・学環長を含む。

※採用から3年未満の教員について、配置が学部の場合は学部長、全学センター(学環を含む)の場合は学長が指名する者が学長の下承を得て、本評価の対象者から除くことができる。ただし、年俸制給与規程の適用を受け在職期間が1年以上の教員については、対象とする。

◇評価項目

教育、研究、社会活動、管理・運営の各領域

※ただし、教員の職務内容の特殊性を鑑み、全学センターの教員及び学部の一部の教員に限り、以下の領域に全て又は一部を差替えることができる。
(細則第5条第1項)

センター等業務(コーディネート)、センター等業務(学生指導・学生支援等)、
センター等業務(調査研究・研究開発等)、センター等業務(企画立案・管理運営等)

◇対象期間

教育、社会活動及び管理・運営領域・・・過去3年
研究領域・・・・・・・・・・・・・・・・過去5年
各センター等業務・・・・・・・・・・・・過去3年